

地域における養育力向上をめざして（第2弾） ～ミニスクール企画編～

☞ **取り組み内容のポイント** ☞ 地域の子育て家庭に養育力をつけてもらい、地域における養育力向上を狙いとした活動の第2弾である。各コースごとに目標を明確に定め、保育所における育児講座、保育・教育実践の共有化、自己評価活動を通し、全参加者が確実に目標を達成し得るプログラム策定にポイントがある。

東京都

社会福祉法人

タビデ会 昭島ナオミ保育園

〒196-0034 東京都昭島市玉川町1丁目10番4号

TEL: 042-545-3561 FAX: 042-545-3564

●法人創設年

昭和54（1979）年

●法人実施事業

- ①経営施設数合計：1施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：
保育所…1

●法人の理念・経営方針

- 1. 健全育成
- 2. 福祉的教育支援
- 3. 地域福祉サービス推進

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款への記載：記載している
- ②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：昭島ナオミ保育園
【施設種別及び利用定員】：保育所定員108名

●活動内容

- ◇活動開始年：平成24（2012）年4月
- ◇活動の対象者：地域の子育て中の乳幼児
- ◇活動の頻度・時間
1か月に2回、1回あたり2時間

◎活動実施の背景、実施にいたった理由

少子高齢化が著しく、かつ「青少年と共に歩む都市宣言」に取り組む地域柄である。また、孤立した子育てを行う孤育て家庭の増加が著しい。さらに、“公園デビュー”と呼ばれる公園での親子遊びにおいても親同士のトラブルが絶えない現状である。

こうしたトラブルの背景には、親世代の社会関係力の低下が原因と考えた。これこそが養育力の低下をもまねいているのである。こうした事実は、保育所行事の一部を地域の子育て家庭に開放することで明確になっていった。

その一例として、行事参加中の子ども同士の小さなトラブルが親同士のトラブルへと発展し、自ら解決できない参加者の増加を目の当たりにしたのである。

そこで、地域の子育て家庭を一過性の行事に招くばかりではなく、保育所における保育・教育実践へ継続的に招き入れ、子育ての楽しさや方法等を知る機会として提供することにした。これをミニスクール企画と称し、地域における養育力向上をめざしたい。

◎実施内容

地域における養育力向上をプログラム化していくにあたり、その対象者として“0、1、2歳児を育てている保護者”に焦点をあてた。次に、対象となる保護者の養育力向上に必要なスキルをプログラム化して、年間Ⅲ期制のミニスクールを企画した。

プログラム策定における留意点は、以下の3点である。

- ①各コースにおける目標の明確化及び受講者の自己評価
- ②保育・教育実践の共有・解説及びリアクションシート記載
- ③育児講座の提供及び受講シート作成

このように、提供する保育所側と参加する地域の保護者側とが共同で働きかけあう形式とした。すなわち、互いにフィードバックしあいながら、このプログラムの活動自体を創りあげていくものとして実施したわけである。

◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

I期修了ごとに、各参加者への援助方法を含む養育力向上プログラムの全過程を通じた反省点及

び改善点等を出し合った。それを次のコースにつなげていく、といったP→D→C→Aサイクルを保育所の全職員で回すことで、職員の参画意識が向上した。

さらにプログラムを提供する保育所側にとって、このミニスクール企画は内部研修の一部であると位置づけた。これにより、このプログラムを提供する主任・中堅の保育士にとっては、自己研鑽の機会が提供されることになった。

また、新人・若手保育士にとっては、OJTによるスキルアップの機会となり、目に見えてコミュニケーションスキルを向上させるものとなった。

さらに、参加状況からみても、募集の初回は一週間半程度かかって定員となっていたが、次期からの毎回の募集時には、当日にほぼ埋まり、翌日には定員になる程である。すなわち、ミニスクール企画が地域の子育て家庭に浸透している効果と云ってよいであろう。

◎ 今後の展開

今後の課題としては、本事業における地域の養育力向上をめざす主旨からすれば、なるべく多数の参加者を受け入れたいが、施設の許容範囲等の都合もあり、定員を設けざるを得ないことがあげられる。

また、地域の子育て家庭を受け入れている最中は、来園者が倍増するため職員の配置もギリギリの厳しい状況になり、園長を含む職員のボランティアで成り立っている。

今後は、ボランティア人材を育成しながら、さらにシルバー人材をも活用できる取り組みを考案し、この事業を発展させたいと模索中である。

◎ 主な経費や財源及び人員等

- ・ 取り組みに係わった職員数〔14〕名
(職種等：理事長、園長、管理栄養士、保育士)
- ・ 取り組みを実施している施設の事業規模（平成23（2011）年度決算の事業活動収入）〔191,250〕千円
※法人全体の事業規模（同上）〔194,060〕千円



親子でわくわく製作活動！



子どもってこんなに動けるんだー！！



思い出のスクラップブックの作成も楽しいな！



ミニスクールの閉会式はなごやかに…。